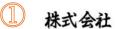


新潟產地通信 令和6年6月21日号 ① 株式会社 高 為









真保さんの田んぼ 緑が濃いです



溝切作業をする真保さん

二十四節気 夏至 げし - 一年で一番昼の時間(日の出から日没)が長い頃 暦の上では夏季の真ん中に当たります

毎日30℃前後の暑い日が続いています。 晴れの日が多く、雨が降りません。 梅雨入りが遅れているようです。 山手に田んぼがある農家さんは、また水不足を心配して います。 適度に雨が降ってもらいたいものです。



溝切り機

◎◎ 溝切り・中干し ◎◎

先週から、田んぼではたくさんの農家さんが溝切りを している姿を見かけるようになりました。 先日、南区の生産者の真保さんのところへ伺うと、 自宅裏の田んぼで溝切りの作業をしていました。

溝切りは、シャベルのような部品のついた小型の バイクのような機械に乗り、田んぼに溝を掘っていきます。 田んぼに掘った溝は、田んぼの入水・排水の際に、 スムーズに水が通るように、水路の役割をしてくれます。 排水がスムーズになることで、秋に雨が長く降った 場合でも、コンバインがぬかるまないようになります。



溝切りの跡



新潟產地通信 令和6年6月21日号 ② 株式会社 高

中干しは、田んぼの水を一旦落とし、小さなヒビ割れ が入る程度まで乾かし、稲の茎数(けいすう)が過剰に 増えるのを抑える目的で行います。

その他にも、空気を土中に送り、ガスの発生を抑えて 根を健全な状態に保つ目的もあります。

あと10日ほどで7月に入ります。 早いもので稲刈りが始まるまで、約2ヶ月です。



中干している田んぼ



南区は果樹栽培が盛んな地域で、果樹畑が 多くあります。

今の時期、果樹畑の近くを通ると、果物の実に 袋掛けがされています。

袋掛けされた桃の実

前回、ご紹介した新潟市南区の伝統行事「白根大凧合戦」は無事終了した ようです。

都合がつかず、観に行けなかったのですが、休日に家族で「しろね大凧と 歴史の館」に行ってきました。

国内の凧はもちろん、世界各国の凧も展示されている世界最大級の 凧資料館です。

私も小学生の時に課外学習で行ったことがあるのですが、20年ぶりくらいに 伺いました。

長男は、大人が手伝いながら凧作りも体験し、出来上がると早速資料館の 外で凧あげをしていました。

自宅からは海が近いので、仕事終わりに時間があると家族で海に行き、 長男は空高く凧をあげて楽しんでいます。



展示された大凧



日本各地の凧



凧をあげる長男